

その他の商業－その他における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	本社社屋内階段にて、出勤のため2階事務所に上がっていく途中、誤って階段を踏み外し、左足親指骨折を負った。	30	—
3	15~16	2階廊下の境目のシャッターが半分降りていて作業終了後気づかずぶつかり、転んだはずみで足を捻った。	20	1~9
3	17~18	段差のある畑へ降りるとき、左足首を捻り着地してしまった。	59	30~49
4	19~20	ビルB1F受水槽室にて養生の撤去作業のため、受水槽室の奥から入口方面へ向け移動の際に、床面に脚立等が置かれ通行できなかった為、受水槽基礎を歩行した所、左足を基礎部（高さ46cm）から踏み外し、左足踵部分を床に強打し骨折した。	47	1000~9999
5	16~17	事業所内、飲食会場にて片付け中、冷蔵庫にビンをしまう際に、開けた冷蔵庫内の角に右手首をぶつけた。	36	10~29
5	17~18	自宅で事務作業中、不注意で椅子から転倒し、骨盤を強打し救急搬送された。	69	1~9
6	16~17	足場事業部ヤード内で、整理中に積んである踏板の上より（h=約1,200）飛び降りた所に物があり、右足を捻った。	29	1~9
7	14~15	マンションの5階階段付近において、降りる際に左足を滑らせ、左膝を強打して転倒した（検針作業中の移動中に発生）。	42	100~299
7	4~5	深夜の新聞配達中に、バイク（50cc）ごと、道路の縁石に乗り上げて横転した。検査の結果、右足親指の骨折と分かった。	58	10~29

7	10～ 11	擁壁ブロックの荷卸し作業中。普段は地上でユニックラジコンを遠隔操作し、荷台の玉掛をして直接荷卸ししていたが、操作を誤り玉掛の状態が悪かったので、荷台へ上がり玉掛を見直し、昇降階段を使用せず、直接荷台から飛び降りた際、地上に敷設していた角材に左足が乗り転倒。左足を被災。	57	10～ 29
9	17～ 18	自動車の整備、分解作業をする取材場で取り出したセカンドシートを裏返し（シート背面を下に）に置き作業をしていた時、シート車体下の部位を覗き込もうとした際に、右ヒザ内側がシート車体への取り付け部位に接触。対象部位が金属の角だったため受傷した。	30	100 ～ 299
9	19～ 20	当社の倉庫において製品（パチンコのセル板）をおろそうとパレットの上から（高さ1.5m）製品を持ったまま降りた際に着地に失敗し負傷した。（持っていた製品は10kgくらい）	34	10～ 29
11	13～ 14	当社敷地内にて、足場部材を車両荷台より降ろしている作業中に、部材（支柱）の間に指を入れて手で持ち上げる動作をした際、バランスを崩して持っていた支柱間に左指を挟めて負傷した。手袋はしており、手元が滑り易い状態でもなく通常下だったが、支柱2ヶ（各14kg程度）の間に挟んだ後異常を感じ、同日中に仕事を早退して病院を受診した。	22	30～ 49
11	15～ 16	事業場の厨房で作業中、鍋を洗おうとして、流しに行く時、床が濡れていたため滑り、両手で鍋を持っていたため手が出ず、左脇腹を流しのふちで強打した。	61	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html